

情報公開文書

～京都大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・栄養内科を中心として行った、「単一遺伝子異常による糖尿病の成因、診断、治療に関する調査研究」に参加された方々へ～

京都大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・栄養内科では下記の要領で臨床研究を行っております。

1. 研究の名称：単一遺伝子異常による糖尿病の成因、診断、治療に関する調査研究(第2期)

2. 本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を得て実施するものです。

3. 研究の目的：糖尿病の大部分を占める1型糖尿病および2型糖尿病とは違い、単一遺伝子異常による発症が疑われる糖尿病患者がしばしばみられます。この研究では、「単一遺伝子異常による糖尿病の成因、診断、治療に関する調査研究」に引きつづき、単一遺伝子異常による糖尿病の実態解明を目的とします。

4. 研究期間：研究機関の長の実施許可日から2028年9月30日まで

5. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究代表機関：京都大学医学部附属病院

研究責任者：矢部大介（京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 教授）

6. 共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名

1. 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

責任者 濱崎 暁洋（糖尿病内分泌内科 主任部長）

2. 東京女子医科大学八千代医療センター

責任者 岩崎 直子（糖尿病・内分泌代謝内科 特任教授）

3. 山口大学医学部附属病院

責任者 田部 勝也（第三内科 大学院担当講師）

4. 和歌山県立医科大学

責任者 古田 浩人（内科学第一講座 准教授）

5. 岐阜大学大学院医学系研究科

責任者 堀川 幸男（糖尿病・内分泌代謝内科学 臨床教授）

6. 大阪市立総合医療センター

責任者 森 潤 (小児代謝・内分泌・腎臓内科 部長)

7. 東京大学大学院医学系研究科

責任者 山内 敏正 (内科学専攻 代謝・栄養病態学 / 医学部附属病院 糖尿病・代謝内科 教授)

8. 日本赤十字社伊達赤十字病院

責任者 依藤 亨 (第二内科部長)

9. 滋賀県立総合病院

責任者 田中大祐 (糖尿病・内分泌内科 副部長)

以上および、日本糖尿病学会会員所属の、研究代表機関と覚書を締結した機関

7. 試料・情報の利用目的・利用方法

上記の研究目的のため、診療で得られた情報を用います。

各機関で仮名化した情報を京都大学に集約し、解析を行います。

8. 対象となる情報の取得期間

6.にしめす機関において、2018年11月2日から2023年11月1日までに日本糖尿病学会「単一遺伝子異常による糖尿病の成因、診断、治療に関する調査研究」(京都大学承認番号：G1158)の研究に参加した方

9. 利用または提供する試料・情報の項目

臨床情報；

年齢、性別、身長、体重推移、出生時体重、在胎週数、新生児低血糖症の有無、併存疾患、糖尿病発症年齢、発症から現在に至るまでの検査所見の推移(血清/血漿血糖値、HbA1c値、血清Cペプチド値、血清インスリン値、血清AST値、血清ALT値、血清ALP値、血清r-GTP値、血清クレアチニン値、血清尿酸値、血清高感度CRP値、血清Na値、血清K値、血清Cl値、血清Mg値、血清総コレステロール値、血清中性脂肪値、血清HDL-コレステロール値、血清LDL-コレステロール値、血清乳酸値、血清ビリルビン酸値、血清GAD抗体値、抗IA2抗体値)、画像検査所見(腹部超音波・CT・MRI)、発症から現在に至るまでの治療内容の推移、糖尿病合併症の有無、合併症が存在する場合、合併症発症から現在に至るまでの重症度の推移。家系内の糖尿病歴(研究対象者本人および代諾者から、可能な限り、治療法および合併症の程度を含め聴取する)。

視神経萎縮もしくは尿崩症を併発する場合、Wolfram症候群の可能性を踏まえ、以下の項目についても取り扱う。

a)現在の生活状況(介護認定・身体障害者認定)

b)視神経萎縮に関し、眼科診察で得られた情報

- c)尿崩症・感音性難聴・内分泌疾患があれば、それらに関する検査データ・治療方法
- d)精神神経異常があれば、その症状
- e)頭部 MRI 検査結果(行っていれば)、呼吸管理の状況
- f)血縁者に視神経萎縮・尿崩症があるかどうか

遺伝情報および試料;

- 1)単一遺伝子異常による糖尿病の主要原因遺伝子
(*HNF4A*, *GCK*, *HNF1A*, *PDX1*, *HNF1B*, *NEUROD1*, *INS*, *ABCC8*, *KCNJ11*, *WFS1*, *INSR*)
の解析結果
- 2) 既知の主要原因遺伝子に変異を見いださなかった場合、Whole Exome 解析や Whole Genome 解析を用いた原因遺伝子探索を行うことがあります。

10. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名又は名称

京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 講師 藤田義人

11. 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止します。研究対象者またはその代理人の求めに応じて、対象者が識別される試料・情報の利用を停止することが可能ですので、ご自身のデータを研究に利用されたくない方は下記 14.に示します相談窓口までお知らせください。

12. 他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧を行うことは可能です。

13. 研究の資金・利益相反

一般社団法人日本糖尿病学会学術調査研究としての資金を用いて実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。また、共同研究機関においても各機関の規程に従い審査されています。

14. 研究対象者及びその関係者からの求めや相談等への対応方法

この研究への参加を希望されない場合には、下のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることは一切ございませんのでご安心ください。

< 研究代表機関 >

1) 研究課題に関する相談窓口

京都大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・栄養内科

担当者：長谷部雅士
(Tel) 075-751-3560

2) 京都大学の相談等窓口
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748
(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

[2024 年 4 月 22 日作成]